ヒロシマに一番電車が走った　～３００通の被爆体験手記から～ (1993)

メディア TV　アニメ
ジャンル ドキュメンタリー　青春　ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
1993/08/06 ～
TV放映 金曜日
NHK

【解説】
第２次世界大戦末期、広島の路面電車は、召集された男たちに代わって10代の少女たちが運転していた。15歳の春川弥生は、朝の車掌業務に就く際に原爆に被爆し、母や大勢の仲間を失う。しかし、被爆からわずか３日後、弥生は再び電車を走らせる。廃墟となった広島から、前に進むために。元々は「ＮＨＫスペシャル」の枠にて放送された番組で、ＮＨＫ広島放送局に寄せられた被爆体験記を元に製作されたアニメとドキュメンタリーとで構成されていた。後にはアニメ単体（本編32分）でソフト化もされた。アニメ本編の製作はマッドハウス、監督は『原爆ドーム物語』『はだしのゲン２』等の作品の監督も勤めた平田敏夫が担当。

【クレジット】

アニメーション演出	平田敏夫
アニメーション制作	マッドハウス
脚本	信本敬子
キャラクターデザイン	杉野昭夫
作画監督	大下久馬
撮影監督	沖野雅英
美術監督	岡田和夫
音楽	小野崎孝輔
録音監督	山田悦司
声の出演	宮村優子
	大定純子
	大原穣子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.